



学校だより

# たくま

白鷹町立荒砥小学校

令和3年12月23日

## 充実の2学期から「琢磨」を想う

校長 菅原 透



暑い夏に始まった2学期。今は白い妖精の舞い踊る季節となり、時の移ろぐ早さを感じます。コロナも少し収束の光が見えたかと思いきや、新たな変異株が発見され、まだまだ…。そのような中、本日、一人ひとりの成長を実感できる終業式を行いました。

2学期はたくさん行事がありました。水泳まどめの会、運動会、長距離走大会、学習発表会…。その折々で見せた、6年生のリーダーシップが際立ちました。先頭に立ってリードする姿が見事。下級生に想いを馳せ、うまく行動させようとする見方考え方の育ちも見事。何よりも、仲間を想い、認め合い、力を合わせて動いたまとまりが見事。下級生のよき手本となりました。学校生活の最大の効果は、直に学べることだと思います。リモートの必要性は承知しつつ、共にいて、見て、聞いて、語って、雰囲気共有できることは、かけがえのない宝物です。11月の創立150周年記念式は、全校生が体育館に集う久々の式となりました。約1時間、“おぎんと”座って臨む体験は、1年生はもとより2年生にとっても初めてのこと。高学年の立派な姿、その“すごさ”を肌で感じられたことは、集団美やきちんとする心地よさを重んじるわが国の文化を継承する意味でも大切な機会になりました。日常の当たり前前経験から体得できる幸せ

を、コロナ禍の今、改めて考えさせられました。また、過日、本校生徒指導主任が、「もう一人の自分」について子ども達に話をしました。今やっていることを見つめ直すもう一人の自分。これからどうすればいいのかを考え行動するもう一人の自分。その存在が、自らを高め、仲間を高め、学校を高めてくれます。それが本校の校是「琢磨」にもつながります。今後も、大事に大事に、伝統を磨き続けていきたいと思えます。

2学期の始業式で『気づき、考え、実行する』日々を創ろう」と子ども達に話し、がんばってきました。常に全力投球とはいかないとしても、折々に自身を見つめ、この後の確かな道を拓くことを大切にしたい…。学校、家庭、地域で、子どもも大人も、楽しみながら“切磋琢磨”していきましょう。

今年もお世話になりました。来年が皆様にとってさらにすてきな年となりますよう祈っております。ありがとうございました。

～メンコちゃんとのかかわりから～

2年生と体育の授業ができるチャンスを得ました。一生懸命体を動かすキラキラした姿に感動。跳び箱、マット、なわとび…メキメキ上達する力に感動。心を開放し、いろいろなものになり切って、いきいき表現するすなおさに感動！「楽しかった」と笑顔で伝えてくれた天使達。子どもって、やっぱり、めんこいですね！！